

自閉症・情緒障がい学級国語科学習指導案

児童 2年 1名

授業者 千葉敦子

1 単元名 せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう

中心学習材名 馬のおもちゃの作り方

おもちゃの作り方をせつめいしよう

2 単元について

(1) 児童の実態

A児はこれまでに、「たんぼぼのちえ」の学習を通して、たんぼぼの変化を挿絵や文中の言葉に留意して読みとり、その内容を動作化することで言語を獲得してきた。また、精査・解釈の時間の最後に「すごいなあと思ったこと」を校長先生に話す学習を行うことで、目的意識を持ちながら読み、進んで言語表出を行うことができた。普段から読書に親しんできたが、気に入ったお話の本を繰り返し読む傾向が強かった。しかし、「たんぼぼのちえ」の学習後、科学的読み物に興味を持ち、新しい発見に目を輝かせる様子が見られるようになった。

A児は、文をすらすら読むことができるが、叙述に即した読みとりは苦手としており、順序を表す言葉の理解は十分とは言えない。また、全体的に語彙が不足しており、表出の際にも簡単な表現に終始しがちである。書く活動については目的意識があれば進んで行おうとするが、カタカナや促音・拗音の表記を苦手としている。しかし、物づくりを好む傾向があるので、本単元のおもちゃ作りや、自分の選んだおもちゃを1年生に伝えるために説明書を書くこの単元には興味を持って取り組めるものとする。1学期に学習した長さの単位（cm、mm）の学習では、興味を持って身の回りの物を測る活動を行ったが、指先を器用に動かすことが難しいため、支援を必要とした。集中して学習に取り組む時間が限られているため、単位時間の学習の流れに区切りや変化をつけて学習を進めてきた。

おもちゃ作りに関しては、1年生の時2年生が生活科で作ったおもちゃで遊んだ体験があり、おもちゃを作ったら、1年生に紹介してみたいという意欲が自然と出てくると考えられる。しかし、説明する経験が少ないため、「どう言ったらよいのだろう。」と悩むことが予想される。

これらの実態や障がい特性を踏まえ、本単元では「順序を表す言葉に気をつけて正しく読む」「部分の名称及び数や大きさ、長さ、位置などの物事を説明する際の語彙を増やす」学習を行う。そして、それらの情報の伝達に必要とされる語彙を用いて、順序だてて分かりやすく説明する力を育む。

(2) 学習材について

「馬のおもちゃの作り方」は、楽しいおもちゃを作る方法が読み手に話しかけるように説明されており、自分も作ってみようという意欲をかきたてられる説明文である。本学習材を学習することによって、作り方などの手順を示す文章では、順序が大切であることを理解するとともに、手順に沿って作業を進めることでできあがることを実感することができる。

また、自分が選んだおもちゃの作り方を1年生に紹介しようというゴールを設定することで、文章の組み立てや説明の工夫など学んだことを活用しながら分かりやすく説明しようとする意識を持って学習に臨むことができる。

今後の生活場面においても、気に入ったおもちゃの作り方をしながら作ったり、パッケージに示されているレシピを読み取りながら料理を作ったりする意欲をもてると考えられ、A児の今後の生活を彩どってくれる学習材と考えられる。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては、次の三点に留意していく。

一点目は、本単元で育成を目指す資質・能力を明確にした単元構想である。本単元で育てたい資質・能力は「事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること」である。構造と内容の把握の段階では、おもちゃの作り方などの説明書を読んでおもちゃが作れるようになるために、順序に気をつけて「部品の名前」「数」「図や写真と照らし合わせる」ことが大切であることを学ぶことができるようにする。精査・解釈の段階では、それらの内容に留意した読みとりを行うことで、少しずつおもちゃが出来上がっていくという喜びが味わえるようにする。そして、自分が作ったおもちゃの説明文を書く際に使うことへの期待感をもつことができるようにしていく。

二点目は、考えを深める工夫である。精査・解釈の段階では、まず、作り方を示した写真を順不同に提示し、どの説明に合うかを考える。そして、順序を表す言葉に着目し、写真と文を照らし合わせて考える大切さについて気づくようにする。おもちゃ作りの読み取りでは、読み取る範囲が分かるように教科書と同じ文を黒板に掲示し、そこに児童の読みに合わせて印をつけていく。意味の分からない言葉については実物を見せたり、動作化をしたりすることで言語の意味理解を深める。そのために、制作するおもちゃの完成品を用意しておく。児童は、少しずつ読み取る→おもちゃ作りの作業を繰り返しながら理解を確かなものにしていく。また、児童が読み取った内容は端的に黒板にまとめておく。その時、読み取ったことを確認することで、順序を表す言葉としてどのような言葉を使用すればいいのか、また、言葉から文へ表現するためにどんな言葉を補えばいいのか考えを深めることができる。

三点目は、振り返りの自己評価において学んだことの有用性を確認することである。「写真を見ると分かった」「順番を考えると分かった」など学んだことの満足感を共有し、今後の国語学習において使いたい「こくごのおたから」として、位置付ける。そのためにも、本単元で育成する資質・能力を分かりやすく掲示し、プラスの行動が見られたときは、何が良かったか知らせるとともに花丸をつけていく。

また、A児の障がい特性をふまえ、普段の学習の流れを変えることなく、一単位時間の流れを「学習内容の確認」→「漢字の読み書き」→「音読」とすることで、学習の心構えを持ち、見通しを持って学習に取り組むことができるようにする。

3 育てたい資質・能力 たいせつ 学習用語

<p>◎時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること</p> <p> 時間の順序に気をつけて読む</p> <p> 筆者</p> <p>「どうぶつ園のじゅうい」</p>	<p>◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること</p> <p> 順序を捉えたり、文章と写真を対応させたりして読む。</p> <p>「馬のおもちゃの作り方」</p>	<p>◎文章中の重要な語や文を考えて選び出すこと</p> <p> 話題や自分の知りたいことを明らかにして、大事な言葉や文を見つける。</p> <p>「おにごっこ」</p>
---	---	---

4 言語活動 作り方を説明する文章を書く。

5 単元の指導計画

(1) 単元の目標

[知識及び技能]	[思考力・判断力・表現力]	「学びに向かう力，人間性」
① 順序をあらわす言葉について理解する。(1)ア)	① 順序を表す言葉に着目して，内容の大体を捉えることができる。 (C(1)ア) ② 事柄の順序に沿って，簡単な構成での文を書くことができる。 (B(1)イ)	① 言葉がもつよさを感じるとともに，楽しんで読書をし，国語を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
① 順序をあらわす言葉について理解している。(1)ア)	① 順序を表す言葉に着目して，内容の大体を捉えている。 (C(1)ア) ② 「書くこと」について，事柄の順序に沿って，簡単な構成を考えている。(B(1)イ)	① 興味をもって事柄の順序に沿ったおもちゃ作りを行い，今までの学習を生かして，おもちゃの作り方を伝えようとしている。

(3) 単元指導計画・評価規準 (全12時間)

次	時	学習過程	○学習活動 学習課題 着目する言葉	評価規準及び評価方法
一	1	構造と内容	① 手作りおもちゃで遊んだ経験を想起し，「馬のおもちゃを作ろう」を読んで，馬のおもちゃ作りをしていくことを知らせる。 ② 自分が選んだおもちゃを作り，その作り方について1年生に説明することを提示する。	[主体的に取り組む態度] <u>態度</u> ・本単元の目標を理解し，自分が作ろうとするおもちゃを選んでいるか確認する。
	2	の把握	① 自分が説明するおもちゃを探す。 ② どうしたら分かりやすく説明できるかという目的意識を持って読み進めていくことを知らせる。	
二	3	精査解 積	① 順番を入れ替えた馬のおもちゃの制作過程を順番にならべる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">馬のおもちゃの作り方を正しい順番にならべよう。</div> ② 順序を表す言葉について気づかせる。 はじめに つぎに それから さいごに しかけ cm	[知識及び技能①] <u>発言</u> ・順序が分かる言葉をもとに，馬のおもちゃの作り方を捉えているか確認する。 [思考力・判断力・表現力①] <u>発言・態度</u> ・順序に従って「数」「部品名」「写真」に留意しておもちゃの作り方の説明を読み取っているか確認する。
	4		<作り方1> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">馬のおもちゃの作り方の説明を読んで，馬の体を作ろう。</div> ① 叙述に即して書かれてある内容を読み，馬のおもちゃを作成する。 ぶひん おなか・せなか・首 (部分を表す言葉)	

	5		<p><作り方2></p> <p>馬のおもちゃの作り方を読んで、馬を完成させよう。</p> <p>① 叙述に即して書かれてある内容を読み、馬のおもちゃを作成する。</p> <p>細長い 四角形 12センチメートル 2センチメートル 目 はな 首 耳 たてがみ しっぽ (部分を表す言葉) しゃしんのように</p>	
三	6	考 え の 形 成	① 「おもちゃの作り方」の説明を書く学習への見通しを持つ。	[知識及び技能①] 記述 ・順序が分かる文を使って、説明する文書を書いているか確認する。 [思考力・判断力・表現力②] 記述 ・説明の順序に沿って、作成の工程の写真を並べ替え、部品の名称や数に留意して文章を書いているか確認する。
	7		② 説明するおもちゃを決め、必要な材料や道具を考える。	
	8		③ 実際に作ってみて、過程を写真に撮る。	
	9		① 選んだおもちゃを説明の仕方を考え、ワークシートに書く。	
	10		<p>順序に気をつけて説明の仕方を考えよう。</p> <p>② 説明の順序に写真を並べ替え、順序を表す言葉を用いてまとめる。</p>	
	11		① 選んだおもちゃを説明する文章を書く。	
	12		<p>順序に気をつけて、1年生に説明する文を書こう。</p>	
四	12	共 有	<p>① 自分が作ったおもちゃと、完成した説明文を1年生に紹介する。</p> <p>② 学習を振り返りまとめる。</p>	[主体的に取り組む態度] 発表 ・1年生におもちゃの作り方をはっきりと伝えているか確認する。

4 本時の指導計画

(1) 目 標

○馬のおもちゃの作り方の説明を読んで、馬のおもちゃを完成させることができる。

(2) 評価規準

・「数」「部品名」「写真」に留意して順を追って表現することが、説明の際に大事であることに気付いている。[思考・判断・表現]

(3) 着目させたい言葉

本時のねらいは、叙述に即して馬のあしと顔を作り、馬を完成させることである。

本単元の資質・能力「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を知ること」を育てるために、次の言葉に着目できるようにする。

それから

つくります→おりまげます→とめます

12センチメートル 細長い 四角形 2センチメートル

しゃしんのように

さいごに

作ります→切ります→つけます

たて9センチメートルよこ4センチメートル

目 はな 首 耳

たてがみ しっぽ

(4) 展開

段階	学習活動 □発問 ・指示	○期待する子どもの反応	・留意点 【評価】 支援内容
つかむ	1 MIM カードを利用して、促音・拗音の読みを行う。 2 漢字の読み書きの学習を行う。 3 前時の学習を振り返る。 4 学習課題を把握する。	○カードをよく見て正しい表記を選ぶ。 ○組み立てに留意して漢字を読んだり書いたりする。	・集中して学習に向かえるように声がけを行う。 ・馬の体を作ったことについて確認する。
	馬のおもちゃの作り方のせつめいをよんで、馬をかんせいさせよう。		
	5 今日作るおもちゃの部品と学習する段落を確認する。 6 課題解決の見通しを立てる。 □ どのようなことに気を付けて読むといいですか。	○足と顔です。 ○順序を表す言葉 ○すること ○形を表す言葉 ○部品 ○長さ ○写真 <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 手立て1 単元構想に関わって読むポイントが「部分」や「数」「写真」「順序」であることを確認する。 </div>	・今までの学習から、部分の名前・数・写真を確認しながら順序に気をつけて作っていくことを確認する。
かんがえる	7 各段落を読み進めながら部品を作る。 □まず、何をすればいいのですか。 ・どんなふうに切り出すのか、教科書で確かめましょう。 ・部品の情報を教科書で確かめながら作ってみましょう。 □それから、何をしますか。 次の手順を確認しながら発問し、作業を進める。 ・写真を見てお腹にとめましょう。 ・馬のあしの作り方を確認しましょう。	○切り出します。 ○12センチメートルの細長い四角形に切り出します。 ○細長い四角形を切り出す。 ○折り曲げます。 ○2センチメートル折り曲げます。 ○切り出して折り曲げる。 ○お腹にとめます。 ○写真を見てお腹にとめる。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> ○まず、12センチメートルの細長い四角形を2つ切り出します。次に、2センチメートル折り曲げます。最後に、お腹にとめます。 </div> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; text-align: center;"> 手立て2 考えを深める工夫 分かりやすく説明するために順序を表す言葉を使えるように、参照できる掲示物を用意する。 </div>	3段落では、あしを作ることを確認する。 ・まず、何をするかに着目し、印をつける。その後、どのようにするかについて読み取っていく。 <div style="border: 2px dashed orange; padding: 5px;"> 教科書の拡大コピーを黒板に提示し、読み取りに沿って印をつける。 あしを切り出しながら「切り出す」「細長い四角形」を教える。 ※手順を読み進めながら、工程ごとに実際に作っていく。 ・写真を見ると分かりやすいことを確認する。 </div> <div style="border: 2px dashed orange; padding: 5px;"> ・A児の発言をもとに作り方の要素を黒板に書いておき、それをもとに順序を表すことばを用いて説明できるようにする。 </div> <div style="border: 2px dashed orange; padding: 5px;"> [思考・判断・表現] 発表 ・長さや形をもとに、順に沿って馬の顔の作り方を説明しているか確認する。 ・観点を提示しておき、良かった所を称賛する。 </div>

	<p>・顔の作り方を確かめましょう。</p> <p>・作ってみましょう。</p> <p>・馬の顔の作り方を確認しましょう</p> <p><input type="checkbox"/> 5 段落には、どんなことが書いてありましたか。</p> <p><楽しみ方>を読む <input type="checkbox"/> どうすれば動きますか。</p>	<p>○色画用紙を、縦9センチメートル、横4センチメートルの形に切ります。</p> <p>○実際に色画用紙を切る。</p> <p>○目や鼻をつけたら、首の上にはり、耳をつけます。</p> <p>○目や鼻・耳をつける。</p> <p>○まず、色画用紙を縦9センチメートル横4センチメートルの形に切ります。次に、目や鼻をつけます。それから、首の上にはり、最後に耳をつけます。</p> <p>○おもちゃの出来上がりです。</p> <p>○たてがみやしっぽを貼ることです。</p> <p>○お腹を持ち、背中を押したり引いたりします。</p>	<p>たて・よこを確認しながら切る。</p> <p>[思考・判断・表現] 発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長さや部分の名称を使い、順に沿って馬の顔の作り方を説明しているか確認する。 ・観点を提示しておき、よかった所を称賛する。 <p>・たてがみとしっぽは用意しておき、名称を確認して貼ることができるようにする。</p> <p>・押す・引くの動きを教え、言葉と結び付ける。</p> <p>・上手に作れた喜びに寄り添う。</p>
ふかめる	<p>7 まとめる</p> <p>今日学習した順序やことばに気を付けてまとめる音読をする。</p>	<p>○音読</p>	
ふりかえる	<p>8 振り返る</p>	<p>○今日がんばった所は、写真を見て作ることです。</p> <p>手立て3 振り返りの観点 「部分」や「数」「写真」「順序」など学んだことの有用性を確認する。</p>	<p>・手だて1のポイントを示し、がんばったことを「ことばのたからもの」の箱に入れ、今後の読みとりの手立てにする。</p>